

あなたにも ききたい

山中湖のあしたを!



平成15年11月26日「山中湖交流プラザ」建設の地鎮祭が執り行われたようです。
14日に「臨時議会」が急遽、召集され「山中湖交流プラザ」建設の工事請負契約(第1期・第2期分)1億9,300万円(大成建設・富士急建設・天野工業のJV)議決の議案が、樋口を除く賛成多数で議決されました。

当日の本会議場で、樋口は、「当該建設予定地には地権者があり現在係争中のため、最終判決によっては地権者への権利侵害と賠償責任が発生するおそれ、しかも請負業者へも多大な責任および義務が発生するおそれ」を理由に反対の討論をおこないました。

これに対し、天野凱弘議員が、「村民の99.9%が要望している」という理由での賛成討論があり、続いて採決がなされ、樋口以外の出席議員は全員賛成起立をしました。

これにより、あいまいな「村活性化」という名のもとに、山中湖村の「貴重で豊かな自然と美しい景観が犠牲」となり、「村民への財政負担が大きいのしにかかる」ことを考えると、工事中重機と富士山に向かい、何度も深いため息をつかずにはいられません!

本当に村民の99.9%の願いなのですか!! 皆さんは本当にこのままでいいのですか?

山中湖村の財政事情

県内最悪!.....起債制限比率

山梨県がまとめた県内市町村の平成14年度決算概要によれば、山中湖村の実質14年度の収支は、3億4,000万円の赤字(忍野村2,100万円、河口湖町1,000万円)でした。

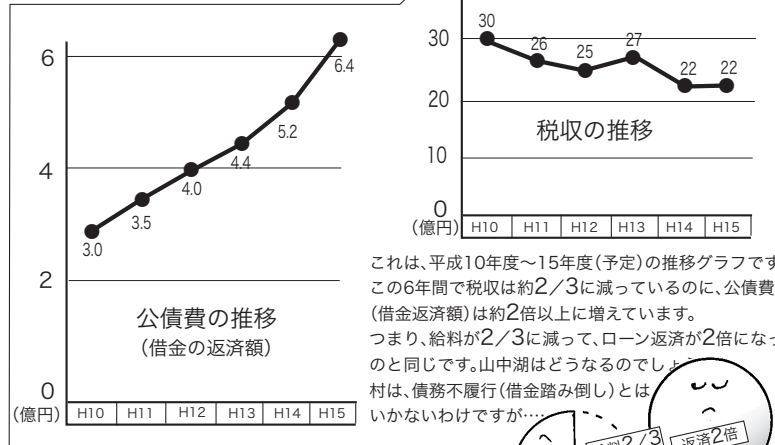
そして、「起債制限比率」(標準的な財政規模に対する公債費(借金の元利返済額)の占める比率の過去3年間の平均)は、14.2%で県内最悪です。(11/1の山日新聞に掲載)

この起債制限比率というのは、地方債の許可制限に係る指標で、この比率が20%以上になると、地方債の発行が許可されなくなり、財政運営(行政サービスなど)に重大事態をもたらします。しかも、

15%が警戒ラインですから、山中湖村は警戒ラインぎりぎりの状態なのです。ちなみに県内の平均は7.9%ですから、いかに山中湖村の借金実態が切迫しているかを住民は知らねばなりません。

また、財政構造の弾力性(健全性)をあらわす「経常収支比率」は、88.2%で、県内の市町村中2番目に悪い数値です。(同)

山中湖村の財政事情(山梨県の統計データよりグラフ化)



これは、平成10年度~15年度(予定)の推移グラフです。この6年間で税収は約2/3に減っているのに、公債費(借金返済額)は約2倍以上に増えています。つまり、給料が2/3に減って、ローン返済が2倍になったのと同じです。山中湖はどうなるのでしょうか。村は、債務不履行(借金踏み倒し)とはいかないわけですが...



この、「経常収支比率」というのは、税金などの一般財源を、人件費や扶助費、公債費(借金返済)など経常的に支出する経費にどれくらい充当しているかをみることで、「自治体財政の健全性」を判断します。

この比率が高くなる程、公共施設の整備など投資的な経費や住民サービスのための経費に充当する財源の余裕が少なくなり、財政運営が厳しくなります。

数値的には70~80%にあるのが望ましく、80%を超えると財政構造の弾力性(健全性)が失われつつあるといわれていますから、88.2%

(県平均78.9%)という数値からみて山中湖村の財政状態がいかに不健全であるかが理解されます。

しかも、「交流プラザ」のような土木建築資金は、補助金(75%)だけでまかなえるわけがなく、工事総予算の25%に当たる5~6億円以上の自己資金捻出のため、基金(預金)の取崩しや、新たな借金が増えるわけです(ほかに維持管理費がかかります)。

歯がゆいギャップ

大型公共事業と、村民の日常

私は、情報公開条例の手続きにより、ほぼ毎日、村の財務関係資料を閲覧しています。

そこで、気がついたことがあります。

昼時間に役場にいったことのある方はお気づきの通り、お昼になると一斉に庁舎内の照明が消されます。中には暗い中でお弁当を食べている職員もいます。

電気料金の推移を見てみると、平成12~13年ごろに比べ、現在約半分の節約になっているようです。

また、庁舎のトイレ掃除や、屋外の草取りなどは、職員が自主的に行っており、これは、誰が言い出したわけでもなく「村民の税金を大切に、経費をできるだけ節約しよう!」

という気持ちで行っているそうです。

もうひとつ役場で気づかされたことは、資料の説明を聞いていながら、財務担当は「資金調達の時、少しでも金利の低い資金を探すのに苦労しています」とか、出納担当は「低金利時代なので、少しでも有利な資金運用に苦労しています」...そして二人から「結局は村民に迷惑がかかりますから」という話を何度も聞きました。

「それは当然のことだ」という方もあるかもしれませんが、こうした日々の努力と、次々と大型工事を議決したり執行したりする、執行部や議会人(私も含め)とのギャップは大きく、歯がゆい思いがします。